



平成27年度通常総会が開催

平成27年2月7日(土) 午後2時より『彩の国すこやかプラザ』に於いて通常総会が開催されました。

(1) 総会設立宣言 (矢野副会長)

会則第24条により、会員の出席31名、委任状提出39名、計70名、現会員86名の2/3以上の出席により総会が成立したことを宣言し開会された。

(2) 会長挨拶 杉浦啓泰会長より挨拶

(3) 議長選出 杉浦会長を選出し、議事進行

(4) 議事録署名人

柳下理事と上田理事が選出された。

(5) 議事

第1号議案 平成26年度活動報告

杉浦会長が活動報告について説明を行い、本議案は原案通り承認された。

第2号議案 平成26年度決算報告

柴田理事が議案書に基づく内容を説明した後、滝沢会計監査より監査報告が行われ、本議案は議案通り承認された。

第3号議案 平成27年度活動計画並びに平成27年度予算(案)の報告

杉浦会長が議案書に基づき説明し、研修計画(案)を上田理事が説明、本議案は原案通り承認された。

(6) 終了宣言

矢野副会長が通常総会の終了宣言を行った。



【杉浦 啓泰 会長 挨拶】 (2015年度のスタートにあたって)

グリーンアドバイザー(GA)の認定母体である日本家庭園芸府空教会は、昭和63年に家庭園芸の普及・啓蒙活動の事業を展開することで、家庭や地域社会で花や緑を育て、潤いのある生活・環境づくりをし、人とのつながりの大切さを感じることができる組織として発足しました。平成24年4月1日より、公益社団法人として再スタート、3年間続けた花と緑の復興支援「グリーンアドバイザーによる花いっぱいキャンペーン」、7回目を迎えた「家庭園芸実践スキルアップセミナー」、お台場での東京オリンピック開催に向けての「おもてなし花壇」の植栽管理など、協会はより公益性を高める活動を進めています。



埼玉グリーンアドバイザーの会は、平成9年に設立、本年度で19年目を迎え、会員は約100名で推移しています。来年度は記念の20周年に当たります。

本年度の研修会は、6回を計画しています。具体的な日程を年初に決定し、多くの方々が参加しやすくし、人気のある研修会は毎年継続して開催しています。そして夜間開催の研修会を増やしています。

全国のGAの会は、東北に「NPO法人Green fields」が盛岡にできました。近々、京都・滋賀地区と新潟にもGAの会ができる予定です。本年度からEメールを活用し、各会の研修会などのイベント情報を速

やかに会員の皆様に連絡することを考えています。

日本フラワー&ガーデンショウは幕張メッセ9番ホールで4月10日～12日に開催されます。よりハイシーズンに近づいた4月前半の開催でより多くのお客様が来場されると思います。ショウのテーマは「はじまる！つながる！花と緑のおつきあい」とし、シンボルフラワーは「百合」です。新企画は、ガーデニングコンテスト、子供たち向けの園芸関連職業体験、キッチンガーデンなどで、関東地区のGAが中心となって運営していきます。

コンテストの応募と当日のアシスタントの協力をお願いいたします。

年々増えてきている自治体などの公共団体や民間の園芸イベントに講師などで参加することも今後多くなっていくと思います。GA埼玉の会員の積極的な協力をお願いいたします。

フェイスブックも始めています。「さいたまグリーンアドバイザーの会」で検索してみてください。これからはしっかりと会員の皆様のお役に立つような活動をしますのでよろしくお願いいたします。

総会終了後、午後3時～5時まで大森亮尚氏による記念講演『桜の文化史』が開催された。

記念講演終了後、JR与野駅前の海鮮居酒屋“はなの舞与野西口店”で有志による懇親会が大森亮尚氏も出席された和やかに開催されました。ご苦労様でした！

【研修報告】 埼玉GA総会記念講演 古代民族研究所代表 大森亮尚氏

テーマ：桜の文化史

講演は、総会（2月7日）終了後の記念講演として開催され参加者31名の出席となりました。講師の大森先生は、日本民俗学をベースとした上代文学・芸能史の研究。靈魂信仰研究や怨霊研究を通じて日本人とは何かを問い続けています。

日本文化の中に植物がいかに入っているかは、万葉集、古今和歌集などの歌にでてきていることからよくわかります。万葉集では萩が一番多く詠われ、古今和歌集では桜が多く出てくる事など、伝承について行為伝承、心意伝承があること。雑学として世界三大美人の小野小町はススキ、クレオパトラはバラ、楊貴妃は梨の花とか、次つぎと面白い話が続きました。

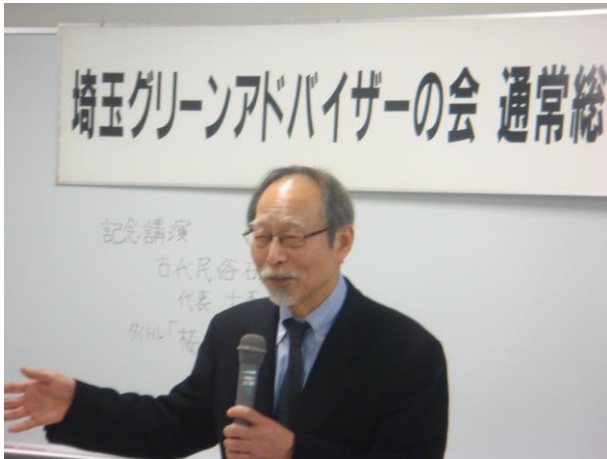
そして桜の本題になりました。桜は何故「サクラ」と言われるのか、サクラは「サ」と「クラ」にわけられ「サ」は昔から田の神様、稲の神、穀霊を「サ」と呼んできました。「サ」は普段山に住んでおられ、季節が来ると人々が暮らす里に降りて来られます。その季節が「サ・ツキ」(五月)であり、降りて来られることを「サ・オリ」、その頃降る雨を「サ・ミダレ」(五月雨)、その田の神の嫁になって田植えをする女性を「サ・オトメ」(早乙女)と呼びます。そして田の神が降りてこられる場所が「サ・ト」(里)なのです。

「クラ」とは高貴な神や人が鎮座する席・場所のことで、「高御座」(たかみくら)は天皇の即位儀礼の折などに用いられる玉座、「磐座」(いわくら)は霊山にある神の鎮座する神聖な岩や崖などの空間を言います。

田の神「サ」がお降りになり鎮座される花、それが「サのクラ」「サクラ」なのです。日本のサクラはもともと「ヤマザクラ」が原種で山に咲くと田の神「サ」が里に降りて来られるという合図になりました。それを見て里では稲作の準備にとりかかったのです。やがて田の畦道にも桜が植樹され、里の中でも田の神を祝福するようになります。昔から家の庭に桜は植えないという言い伝えがあるのも、桜がそうした神聖な植物だからです。

「花見」は桜を見ることで田の神「サ」を祝福し、稲の実り・豊作を祈願する。見る事で桜が散ることなく、長くとどまってくれるという鎮魂法です。見るという行為は、目を通じて心や魂を互いに交流・交換させる「たまふり」魂の共振術だったのでしょう。

現在においても花見は桜となる所以は遠い昔の日本の行為伝承なのではないでしょうか。



古今和歌集の以下の歌を参加者全員で詠みましたので一部を紹介します。

- “ことしより 春知りそむる 桜花 散るといふことは ならはざらなむ” (紀貫之)
- “世の中に 絶えて桜の なかりせば 春の心は のどけからまし” (在原業平)
- “ひさかたの ひかりのどけき 春の日に しづ心なく 花の散るらむ” (紀友則)

先生のお話のほんの一部を紹介しました。何気ない習慣や行為は長い年月を経て今の自分に伝わっている事を感じる講演でした。(記事：中緒知和子)

【イベント情報】

2015日本フラワー&ガーデンショウ

1991年にスタートした日本フラワー&ガーデンショウは、第1回目の開催以来、通算100万人を超える来場者を迎える日本最大級の園芸パブリックショウとして例年多数の方にご来場いただいています。

本ショウは2015年の開催で節目となる25回目を迎えます。今回より、園芸のハイシーズンでもある4月に開催時期を変更しました。来場者の皆様には、これまで以上にたくさんの花や緑を楽しんでいただけるようになります。記念すべき第25回の開催にあたり、様々な新規イベントも計画中です。新しいステージへと向かう日本フラワー&ガーデンショウにご期待ください！



【柳下 和之氏（園芸研究家）のコラム 第21回目】

リュウキュウコザクラ



本州では稀なとても小さな野草ですが、沖縄ではごく普通に道端に生えています。

ただとても小さな野草なので、花を咲かせていても気が付かない人も多いかもしれません。

名前の語源は琉球に生える小さな桜草の意味だと思いますが、厳密にはサクラソウ属ではなくトチナイソウ属の植物です。

この属で日本に自生する植物は、本種と属を代表するトチナイソウの二種のみなので国内では少数派と言ったところでしょうか。

トチナイソウは早池峰などの高山に自生する一方で、このリュウキュウコザクラは暖地の草地に生えると言う両極端に棲み分けているのは面白い。

園芸的にはアンドロサセの名前で流通する近縁種がいて、此方はサクラソウと言うよりも小さなカスミソウと言った感じで、ミヤマカスミソウの別名でも呼ばれます。

このリュウキュウコザクラも群生していると地面の草地の上に白いカスミが漂うような雰囲気になって、地味だけど気になる美しさがあります。

開花期は1月～5月頃と言われ、私が見かけたのは2月の

沖縄にて、駐車場の芝草に紛れて群生していました。

タネを採取して芝生の上に撒けば、芝生の中から白い花を覗かせてくれる姿を関東でも楽しませてくれるかもしれないと考えつつも実行はしていない今日この頃です。

【新入会員】

小山 有樹子（17-291）、阿諏訪 洋子（23-018）、石上 美由紀（23-047）

榎本 永子（23-122）、高橋 美登利（23-426）、高橋 良子（23-427）

野沢 洋子（23-554）、福田 真利子（23-611）

どうぞよろしく！

【編集後記】

平成27年度 通常総会が無事に行われた。

今までの馴染みの会場予約が出来ず、新しい会場となりましたが、交通の利便性など如何でしたでしょうか？

本年度の研修計画は、多くの方々が参加しやすい、夜間の研修会を追加しました。また、人気のある研修会は継続して開催しています。本年度も変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

新しいアイデアやご意見などございましたら積極的ご提案ください！お待ちしております。